

重点項目Ⅱ

個性を活かし、確かな学びを育む教育の推進

■推進項目4

個性・能力を伸長し、可能性を拓く教育の推進

■成果指標

「全国学力・学習状況調査」における県の平均正答率と全国との差
(文部科学省 全国学力・学習状況調査)

令和4年度実績

小学校国語：－1.6ポイント 小学校算数：－1.2ポイント
中学校国語：＋2.0ポイント 中学校数学：＋3.6ポイント ▶▶▶
(参考) [全国平均正答率]
小学校国語：65.6% 小学校算数：63.2%
中学校国語：69.0% 中学校数学：51.4%

令和8年度目標

国語、算数(数学)ともに
全国平均以上

指標の説明

毎年小6、中3を対象に全国で行われている学力調査における県の平均正答率と全国との差。基礎的な学力の上昇が、将来の選択肢を広げることから、この指標を選定。

積算根拠／得られる成果

児童生徒の基礎的な学力の定着を目指し、目標を設定。
この目標達成により、基礎的な学力の定着を土台とし、自ら考え、判断し、表現できる子どもの育成を促進。

■成果指標の実現に向けた工程表

具体的な取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
確かな学力の向上の推進	学力向上施策の実施・推進			横展開

施策の方向性⑧ 確かな学力を育成し、豊かな人生を切り拓く教育の推進

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」、新しい時代に必要となる資質・能力を総合的にバランスよく育成するため、地域社会などと連携しつつ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図り、学習指導要領の趣旨の着実な浸透に向けて取り組みます。

また、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質・能力を育成するためのキャリア教育や、主体的に社会の形成に参画しようとする力を育む主権者教育等、社会の課題を他者と協働しながら克服し、豊かな人生を切り拓く教育を推進します。

【今後の取組】**【確かな学力の育成】**

- 基礎的・基本的な知識や技能の定着を土台とし、自ら考え、判断し、表現できる子どもの育成を目指して、他者との協働を通じて自己の考えを広げ、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、自ら課題を見いだして解決策を考えたりするなどの主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進します。
- 子ども一人一人の発達や学びの連続性に配慮し、幼小、小中、中高の教育内容・方法の円滑な接続を推進します。

【キャリア教育・主権者教育等の充実】

- 本県の今後のキャリア教育の方向性を示すため、「徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ」を改訂し、幼・小・中・高等学校間や地元企業等との連携による活動、自らを振り返る活動などを通して、キャリア教育を一層推進します。
- キャリア・パスポートの活用にあたっては、小・中・高等学校への丁寧な説明に努め、校種間の円滑な接続によりキャリア教育の充実を図ります。
- 小・中・高等学校の各段階において、関係機関との連携・協働を図りながら、出前講座やワークショップ・模擬投票などの体験的学習を実施するとともに、合意形成や社会参画を視野に入れた学びを通して、主権者教育の充実を図ります。
- 各学校で中核となる教員への主権者教育研修会や、科目「公共」の授業研究会を通して、指導力向上に取り組めます。
- 「ふるさと徳島」への誇りを持ち、地域の魅力創出を目指し主体的に活動する人材を育成するため、地域人材を活用した多様な体験活動等の充実を図ります。

施策の方向性⑨ 人格形成の基礎を培う幼児教育の振興・充実

発達や学びの連続性を踏まえた質の高い幼児教育を全ての幼児に提供するため、幼稚園教諭・保育士・保育教諭に対する体系的・効果的な研修を実施し、保育者の資質・能力及び専門性の一層の向上を図るとともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の振興・充実を推進します。

【今後の取組】

- 徳島県の幼児教育振興に係るプランを策定し、全ての幼児に対して質の高い幼児教育を提供する取組をより一層推進します。
- 小学校との架け橋期における教育の位置付けや重要性について周知し、子どもの成長を中心に据えながら、その充実に取り組めます。
- 幼児教育と保育を一体的に提供する認定こども園の整備支援や、キャリアステージ等に応じた保育者の資質向上に資する体系的・効果的な研修の充実に取り組めます。

■推進項目5 成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成

■成果指標

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の県の平均得点と全国との比較 (スポーツ庁 全国体力・運動能力、運動習慣等調査)

令和4年度実績

小学男子：49.6点 小学女子：49.8点 ▶▶▶
中学男子：49.9点 中学女子：50.1点
※全国平均得点を50点に換算した相対的数値

令和8年度目標

小中男女ともに
全国平均以上

指標の説明

毎年小5、中2を対象に実施されているスポーツ庁の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において平均得点が全国平均を下回っていることから、この指標を選定。

積算根拠／得られる成果

体力合計点について、男女ともに全国平均以上となることを目標とする。
児童生徒の体力・運動能力が向上し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現。

■成果指標の実現に向けた工程表

具体的な取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
生活習慣・運動習慣の確立		健康教育・体育授業の充実		

施策の方向性⑩ 心豊かに生きる教育の推進

豊かな感性と社会性を育む体験的な活動や読書活動、道徳教育等の多様な教育機会を通じて、自己肯定感を高めるとともに、生命を尊重する心、他人を思いやる心、自然や美しいものに感動する心、正義や公正さを重んじる心などの豊かな人間性を育む教育を推進します。

【今後の取組】

- 子どもたちが多様な体験活動に親しむことができるよう、牟岐少年自然の家等を活用した取組の充実を図ります。
- 「徳島県子どもの読書活動推進計画」を着実に推進し、子どもの発達段階に応じた読書習慣の形成や、読書活動の充実を図るための人材育成及び活用等、子どもが自主的に読書活動に取り組むことのできる環境づくりを支援します。
- 子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、学校における指導体制の改善・充実を図るとともに、家庭や地域と連携・協働して道徳教育をより一層推進します。

施策の方向性⑪ 心身の健康の増進と体力向上を促進する教育の推進

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現に向けた資質・能力を育成するため、学校保健と食に関する指導の充実を図り、望ましい生活習慣の形成及び体力向上に向けた取組を積極的に推進します。

【今後の取組】

- 子どもたちの望ましい生活習慣の形成及び運動習慣の確立を図るため、児童生徒の実態を把握し、学校・家庭・地域が連携した健康教育や食育の充実に取り組むとともに、全ての小・中・高等学校で生活習慣改善計画を立て、肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。
- 栄養教諭等が各校の学校食育リーダーと連携・協働し、学校給食を生きた教材として活用しながら、全ての小・中学校において食に関する指導を積極的に実施します。また、食に関する指導の充実のため、地場産物を活用した学校給食を推進します。
- 子どもたちが運動できる喜びを実感し、意欲的に運動に取り組めるようにするために、体育の授業に専門性を持った大学教員やスポーツインストラクター、プロスポーツ選手等を派遣し、体育の授業の充実を図ります。また、教員に対し、体力の向上に効果的な運動内容、運動方法を学ぶ研修機会を提供します。

■推進項目6 持続可能で魅力ある教育環境づくり

■成果指標

多様な主体と連携した探究活動の充実（県学校教育課調べ）

令和4年度実績

多様な主体と連携した
探究活動の好事例発表校数
3校



令和8年度目標

24校
(R5からの累計)

指標の説明

企業や大学等、多様な主体と連携しながら探究活動を推進し、県教育委員会が設ける発表会の場等で発表をした学校数。自ら考え行動できる力を培うことのできる課題解決学習を更に推進していくためには、各学校の特色にあわせ、多様な取組を横展開させることが重要であることから、この指標を選定。

積算根拠／得られる成果

県立高等学校等における探究活動について、生徒による実践発表を好事例として横展開することで、多様な主体との連携推進を目標とする。探究活動を推進することにより、新たな価値を生み出す創造性を育み、自ら考え行動できる力を培うことにつながる。

■成果指標の実現に向けた工程表

具体的な取組	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
県立高等学校等における探究活動の発表	好事例の横展開		多様な主体との連携推進	

施策の方向性⑫ 未来に輝く、魅力ある学校づくり

各高校の強みを生かした特色化・魅力化や、本県教育の一翼を担う私立学校の振興、二地域居住を促進する地方と都市の学校間移動の取組等、魅力ある学校づくりに向けた取組を推進します。

【今後の取組】

- スクール・ミッション*及びスクール・ポリシー*に基づき、各高校等がこれまで培ってきた取組や地域の特性等、それぞれの強みを生かしつつ、魅力ある学校づくりを推進します。
- 人口減少が急速に進む地域の学校において、その特色化や魅力化を通じて、地域の新たな活力を創出するため、豊かな資源を生かした教育プログラムを確立し、地元はもとより県内外の生徒に選ばれる魅力ある学校づくりを進めます。
- 生徒数減少や高校小規模化など地域の教育環境の変化を踏まえつつ、通学区域制見直しの効果や影響を検証し、生徒の主体的な進路選択に資する本県に相応しい制度の在り方を検討します。

- 私立学校における、コミュニケーションを重視した幼児期からの英語教育や、難関大学への進学に重点を置いたトップレベルの学力養成のためのキャリア教育、優れた指導者の採用と有望な県外生徒の獲得によるスポーツ競技力の向上等、多様なニーズに対応するための魅力ある学校づくりを支援します。
- 「デュアルスクール」先進県として、引き続き取組を推進し、多様な働き方の理解や徳島での自然・文化体験による教育的効果の意義を全国に発信するとともに、子ども同士の交流を通して、互いの地域の視点に立った多様な価値観の醸成を図ります。
- ※ スクール・ミッション：各公立高等学校等の存在意義や期待される社会的役割、目指すべき学校像。
- ※ スクール・ポリシー：各公立高等学校等における教育活動の指針となる3つの方針（育成をめざす資質・能力に関する方針、教育課程に関する方針、入学者の受入れに関する方針）。

施策の方向性⑬ 新たな価値を生み出し、地方創生につなげる教育の推進

社会経済の発展を牽引するイノベーションの創出や地域の産業振興に向けて、地元企業や高等教育機関等との更なる連携の強化や、探究学習等における教科等横断的な学習の充実を図り、新たな価値を生み出す創造性を育むとともに、未来の徳島を担う若者の地元定着に向けた取組を推進します。

【今後の取組】

【地方創生人材の育成】

- 県内高等教育機関等と連携・協力した高大接続教育や、地域との連携により、地方創生の原動力となる人材を育成します。
- 科学技術の未来を切り拓く人材を育成するため、県内高等教育機関と連携し、科学技術に関する実践的な学習の機会を設け、科学への意識や関心を高める取組を推進します。
- 時代のニーズにあった6次産業化人材を育成するため、地元企業や高等教育機関等との更なる連携強化を図り、先端技術や藍、ゆこうなどの地域の特産品を効果的に活用するなどして、6次産業化に対応した教育を推進します。
- 地方創生を担う人材の育成や地域の課題解決・活性化を図るため、県内外の高等教育機関と連携し、「とくしまボランティアパスポート」をはじめとする、学生の地域貢献活動を推進します。
- 大学生などの県内就業を促進し、本県産業を担う人材の確保を図るため、学生が県内事業所等に一定期間就業した際には、奨学金の返還を支援します。

【探究活動の充実】

- スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校が開発したカリキュラムや教材の普及をはじめ、教員研修の場の拡大や、各校の成果発表の場となる交流会等の実施により、生徒や教員が研鑽を積む機会を設け、県内での探究活動の充実を図ります。
- 予測不可能な時代を生き抜くために必要な情報収集能力や、自ら考え行動できる力を培うことのできる課題解決学習を推進します。